

こんにちは、炭素市場エクスプレス事務局です。

本メールマガジンは、炭素市場に関する最新の動向や国内外のイベント情報等についての情報を毎月 2 回程度配信しています。下記リンクもあわせてご覧ください。

ホームページ <https://www.carbon-markets.go.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/jcm.oecc/>

二国間クレジット制度 (JCM) <https://www.carbon-markets.go.jp/jcm/index.html>

◇トピックス

◆1. 政府機関の報道発表

[1] カーボン・クレジット市場の実証を開始しました (経産省)

経済産業省が実施するカーボン・クレジットの市場取引に関する実証事業について、J-クレジットの取引実証を開始しました。また、これに合わせて経済産業省と委託先である東京証券取引所の共催によるセレモニーを開催しました。

[2] 令和 4 年度「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」の第三次採択案件の決定について (環境省)

◆1. 政府機関の報道発表

[1] カーボン・クレジット市場の実証を開始しました (経産省)

今年度、経済産業省では、委託先である東京証券取引所とともに、「カーボン・クレジット市場」の創設に向けて、カーボン・クレジットの市場取引に関する実証の実施にむけた準備をまいりました。

9 月 22 日、多様なカーボン・クレジットの価格が公示される形で広く取引される市場の構築に向けて、取引の流動性をどのように高めるか、公示される価格が適切にシグナルとして働くか、多様なクレジットの付加情報も併せて流通するか、といった観点から検討することを目的に、国内の事業者によって多くの取引がなされている J-クレジットによる取引実証を開始しました。

また、実証の開始を記念して、委託先である東京証券取引所との共催によるセレモニーを開催しました。

【報道発表】

⇒

<https://www.meti.go.jp/press/2022/09/20220922001/20220922001.html?from>

[=mj](#)

[2] 令和4年度「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」の第三次採択案件の決定について（環境省）

令和4年度「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業（以下「本事業」という。）」の第三次採択案件として、令和4年7月1日付けで公表した第一次採択案件の16件、令和4年8月9日付けで公表した第二次採択案件の4件に加え、今般、新たに5件を選定しました。これまでに本事業により採択した案件による2030年までの累積温室効果ガス（GHG）削減量は、約1,944万トンCO₂を見込んでいます。

引き続き、第四次採択に向けて案件を募集（次回の公募締切りは令和4年10月7日（金）正午まで。本事業の募集期間は令和4年11月30日（水）正午まで。）しています。

今後も、「地球温暖化対策計画（令和3年10月閣議決定）」等に基づき、「二国間クレジット制度（Joint Crediting Mechanism：JCM）」を通じた環境インフラの海外展開を一層強力に促進していきます。

【報道発表】

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00631.html

◎ ●お問い合わせについて

炭素市場エクスプレスでは、二国間クレジット制度（JCM）や国際的な市場メカニズムに関する情報を提供しております。JCMの制度や仕組み、プロジェクトの実施、クレジットの活用及び市場メカニズムの動向等について、メールにてお気軽にご相談ください。

⇒ info@carbon-markets.go.jp

メールマガジン登録内容変更もしくは配信停止ご希望の方は、下記ページより手続きください。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/newsletter/>

メールマガジンのバックナンバー（PDF）は下記サイトで公開しています（最新号を配信後に、前号がアップされます）。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/newsletter/2021/>

◎ ●発行・編集

炭素市場エクスプレス事務局 / 一般社団法人海外環境協力センター（OECC）

〒110-0016 東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル 7・7 階

※このメールの記載内容の無断転載、無断複製を禁じます。